

供覧・決裁

議長 副議長 局長 課長 課長 係長



様式第2号 (第3条関係)

令和 7年 1月 16日

丹波篠山市議会議長 様

会派名 福祉と教育
代表者名 向井 千尋
又は会派無所属議員の氏名



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類: 視察調査 (研修) 広報広聴活動
その他 ()
2. 活動期間: 令和7年1月14日(火) 14時から16時半
3. 場所: リファレンス大阪駅前第4ビル23階
4. 活動者: 桐村 裕一
5. 活動の概要: 地方議員研修会 現場から見る不登校支援
6. 考察: 別紙参照
7. 活動に要した費用:

費目	詳細	金額	備考
旅費	交通費 (JR 丹波篠山—大阪)	2,340	片道1,170円
参加費等	参加費	15,000	

【現場から視る不登校支援】

「現場から視る不登校支援 今こそ再確認、今の家庭、今の子どもの最新事例を現場から学ぶ」研修会に参加した。

不登校の現状と、教育の機会確保に関する法律についての説明が行われ、学校外での学びの重要性や民間との連携の必要性があるというものだった。

教育現場における長期欠席、不登校の現状は、小中学生の長期欠席者数が増加しており、特に不登校が約 35 万人に達している。欠席理由には病気、経済的理由、コロナ感染回避などが含まれるが、欠席者の背景や要因を理解し、早期対応が必要である。

・いじめの認知と対策

いじめの認知件数が増加しており、特に小学校での件数が多いが、いじめの認知が多いことは必ずしも悪いことではなく、初期段階での認知と対応が重要であるとのことだった。

・中一ギャップの防止

小学校から中学校への移行期における環境適応の問題を中一ギャップと呼ぶが、これを防止するために小中学校間の連携が重要である。出前授業や交流を通じて適応を促進する取り組みが行われているが、中学生の不登校は小学校以上に増加しており、課題の精査が必要である。

・教育支援とスクールカウンセラーの役割

校内カウンセリングの必要性が高まっており、スクールカウンセラーが学校や家庭の問題に対する支援を行うが、活動時間が限られているため、十分な対応が難しい。不登校の要因と教育支援の現状として、不登校の要因は無気力や不安が挙げられるが、全国的に教育支援センターの活動が十分でないことが指摘されている。特にスクールカウンセラーの活動時間が限られていることから、子どもたちの声を拾い切れていない現状もある。

教育支援センターの課題として、教育支援センターでは、通学が難しい子どもたちへの対応が不十分であり、施設的环境改善が求められているが、まだ後手に回っている現状があります。また保護者からの意見もなかなか反映されず、特にシングルマザーの就労に影響を与えている現状があります。

その中で、ICTを用いた教育と復学支援として、ICTを用いた教育が進んでいるが、集団生活での課題が残っており、いかに ICT を活用していくかがカギとなる。

【考察】

いじめの認知方法については、アンケートを活用した方法が効果的ではあるが、この件に関しては丹波篠山の教育委員会にも問い合わせながら、より効果的な方法を

探っていきたい。

復学支援には家族の理解と協力が必要で、様々なスタイルの支援が行われているが、丹波篠山ではどのようにここへの対応が行われているかの調査が必要と考えられます。

1. 特別支援教育の重要性
2. 小学校での特別指導の実施方法
3. 保護者の負担と支援の必要性
4. 特別支援学校の役割
5. 特別支援教育支援員の必要性
6. インクルーシブ教育の推進
7. 発達障害の理解と対応
8. 家庭環境の現状把握

上記7項目の課題について、今ある丹波篠山の支援の内容を再確認し、児童生徒が学校に行きたくない理由を持っている場合、どうすればその理由を理解し、解決に向けて支援できるかを考えていく必要があると感じています。

特に6のインクルーシブ教育として、ICTの活用はまだまだ現実的な部分から乖離していることが全国的な流れで見取れます。また、家庭環境の改善もスクールソーシャルワーカーの福祉的目線が必要不可欠であるが、今のスクールソーシャルワーカーの役割もますます大切になってくると考えられます。

小中学生の長期欠席と不登校の増加に対する具体的な対応策が急務であり、子どもの数が減少しているのにも関わらず、不登校が増えている現状を認識し、不登校対策における民間との連携の具体的な方法や実施計画が現状では不明確であり、さらなる検討が必要であると考えられます。

いじめの認知と対応が不十分な場合、長期欠席や不登校の増加につながる可能性があるため、早期の介入と支援が必要であり、不登校という社会問題の解決の糸口を広げていくために、さらに近隣の先進的な取り組みの現状を広く調査していきたい。

領収証

2025 年 1 月 14 日

桐村裕一

様

★

¥15,000

但 1/14 14時～ 現場から視る不登校支援

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区

大阪駅前第2ビル

TEL 050-6868

領 収 書

Receipt

福祉と教育 様

領収年月日 2025.1.14

金額 ￥1,170 (消費税等込み) (税10%)

購入内容 JR乗車券類 JR tickets

登録番号: T1120001058075
西日本旅客鉄道株式会社
大阪駅

券C06発行

伝票番号: 73513

領 収 書

Receipt

福祉と教育 様

領収年月日 2025.1.14

金額 ￥1,170 (消費税等込み) (税10%)

購入内容 JR乗車券類 JR tickets

登録番号: T1120001058075
西日本旅客鉄道株式会社
徳山日駅

券A02発行

伝票番号: 80163